

# 2012年3月期 第2四半期決算説明会



カシオ計算機株式会社

2011年11月1日

# 2012年3月期 第2四半期累計連結決算概況

単位:億円

連 結	2011/3月期	2012/3月期		
	第2四半期 累計実績	第2四半期累計		
		公表値	実績	公表差
売上高	1,764	1,500	1,502	+2
営業利益	53	20	32	+12
経常利益	51	15	25	+10
当期利益	26	7	9	+2

## 第2四半期累計の概況

事業ごとに震災影響の強弱はあったものの計画達成

◆コンシューマの利益上振れ

◆特に時計は海外売上拡大もあって大幅な増収、増益

# 2012年3月期決算予測

単位:億円

連 結	2012/3月期			
	第2四半期 累計実績	下期計画	通期計画	前年比 増減額
売上高	1,502	1,798	3,300	-117
営業利益	32	168	200	+80
経常利益	25	155	180	+63
当期利益	9	91	100	+43

## 1. 既存事業

- ◆時計、電子辞書の海外売上拡大に伴う利益拡大
- ◆システムの売上拡大に伴う収益性改善
- ◆中南米、ASEAN中心に売上の拡大

## 2. 新規事業

- ◆ネットサービス事業とデジタル絵画事業の  
早期収益貢献

# 時計

## ◆スマートフォンと通信できるG-SHOCKの新製品投入 →世界初Bluetooth<sup>®</sup>V4.0対応のG-SHOCK(電池寿命約2年実現)

- ・スマートフォンの電話着信・メール受信を腕時計の電子音や振動でお知らせ(発信者の名前を腕時計に表示)
- ・スマートフォンのGPS時刻情報を腕時計が受信して世界中どこでも時刻を自動で修正



## ◆女性向けメタルアナログモデルのラインアップ強化

- ・世界6局の標準電波に対応したSHEENの新製品投入(独自開発した最小のムーブメントを搭載)



## 1. ネットサービス事業（イメージングスクエア）

- ◆スマホ主体の世界展開による登録会員の拡大
- ◆アニメダンス等魅力的なサービスを次々に提供

## 2. デジタル絵画事業

- ◆イメージングスクエアの「基本技術」と「3Dプリント技術」等を活用し、新しい感動を表現
- ◆世界展開に向けて新流通網整備

# セグメント別売上・営業利益

<ご参考>

単位:億円

連 結	2012/3月期	
売上高	第2四半期累計	通期
<b>コンシューマ※</b> デジタルカメラ、時計、電子辞書 電卓、楽器	1,057	2,300
システム	211	600
その他	234	400
<b>合計</b>	<b>1,502</b>	<b>3,300</b>
<b>営業利益</b>		
コンシューマ	59	230
システム	▲11	15
その他	2	▲5
調整額	▲18	▲40
<b>合計</b>	<b>32</b>	<b>200</b>

※コンシューマ売上内訳(通期):デジタルカメラ500億、時計950億、その他850億



**END**